LabelloPC 「データベースモード」チュートリアル

このチュートリアルは＜エディタ Ver.2.2J＞対応です。
取扱説明書の参考ページは、＜エディタ Ver.2.2J＞（1997 年 9 月発行）のものに準拠しています。

データベース機能
エクセルなどの表計算ソフトで作成したデータを利用して、データベースを作成していきます。
※ここではエクセルで作成したデータを作例に使用して説明します。

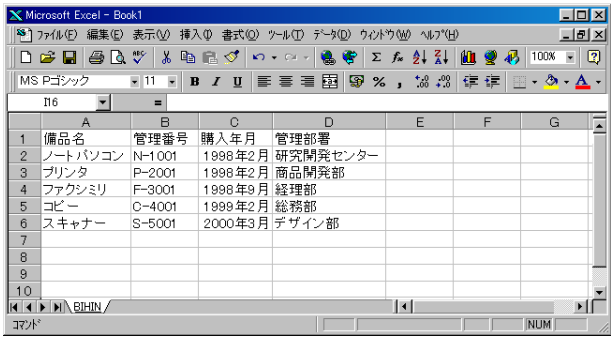
データの作成は以下の手順で進めていきます。

1. 読み込むデータの準備
2. データベースモードの選択
3. データの取り込み
4. ラベルの設定とレイアウト成
5. データベースモードの印刷

---

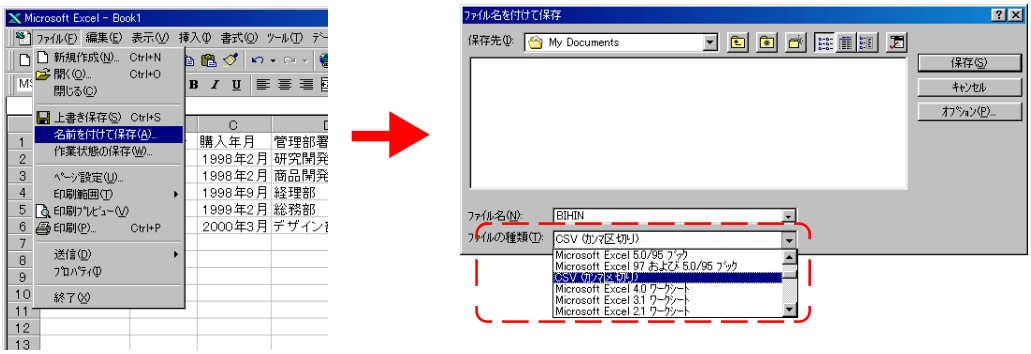
1. 読み込むデータの準備

1-1 まずエクセルで図のようなデータを作成します。



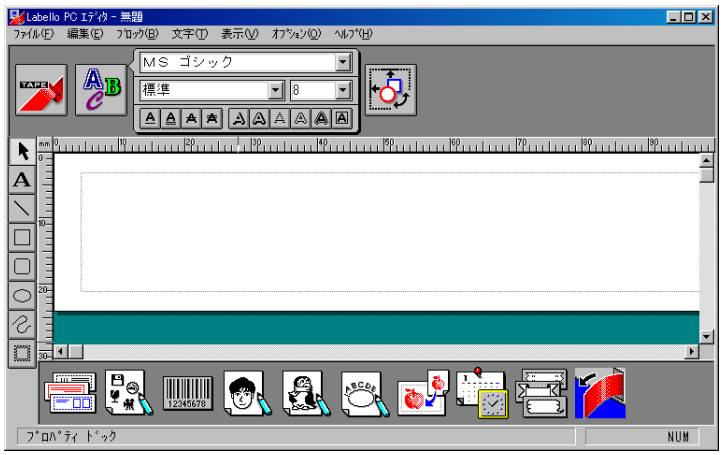
	A	B	C	D
1	備品名	管理番号	購入年月	管理部署
2	ノートパソコン	N-1001	1998年2月	研究開発センター
3	プリンタ	P-2001	1998年2月	商品開発部
4	ファクシミリ	F-3001	1998年9月	経理部
5	コピー	C-4001	1999年2月	総務部
6	スキャナー	S-5001	2000年3月	デザイン部

1-2 このデータを「名前を付けて保存」を選択して、ファイル形式を CSV にして保存します。
ここではこのファイルの名称を「bihin.csv」と名付けます。

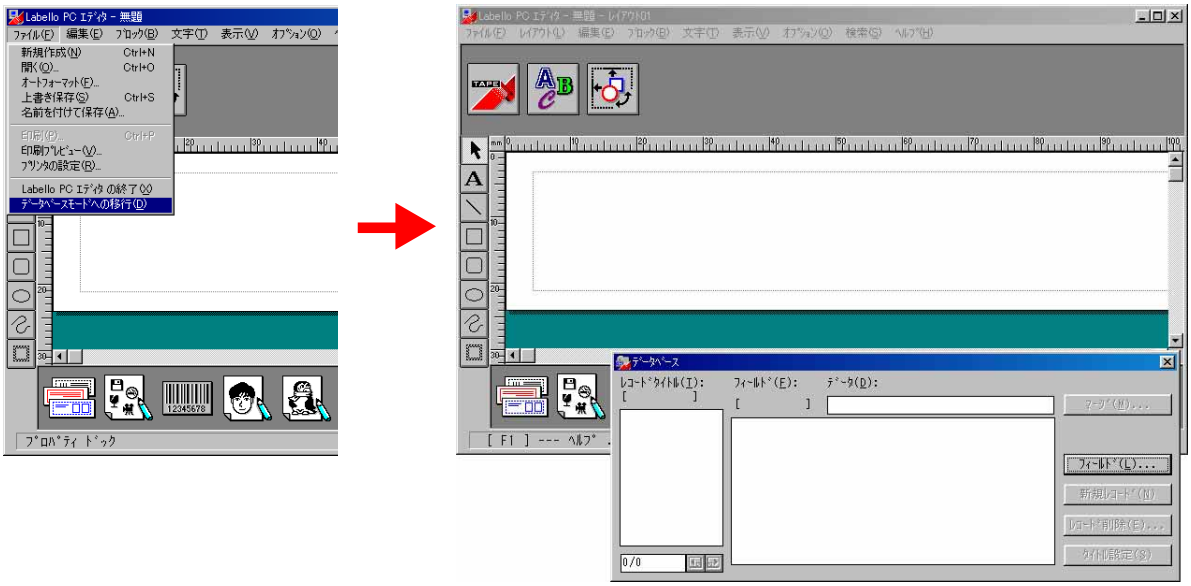


2.データベースモードの選択

2-1 Labello PC エディタを起動します。



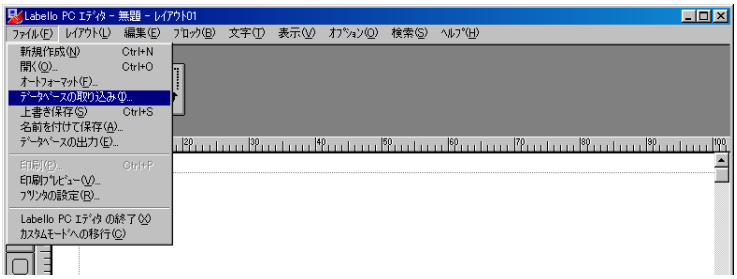
2-2 カスタムモードからデータベースモードに移行します。
メニューの「ファイル」～「データベースモードへの移行」を選択すると、「データベースモード」ダイアログが表示されます。



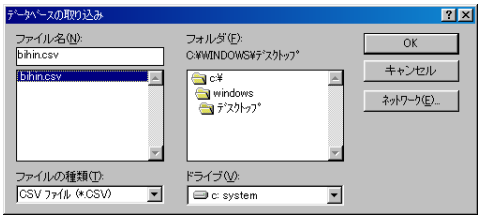
※前回、Labello PC エディタを使用した時、データベースモードで終了していた場合はデータベースモードで始まります。
※「データベース」ダイアログについては取扱説明書のP141～142をご覧ください。

3.データの取り込み

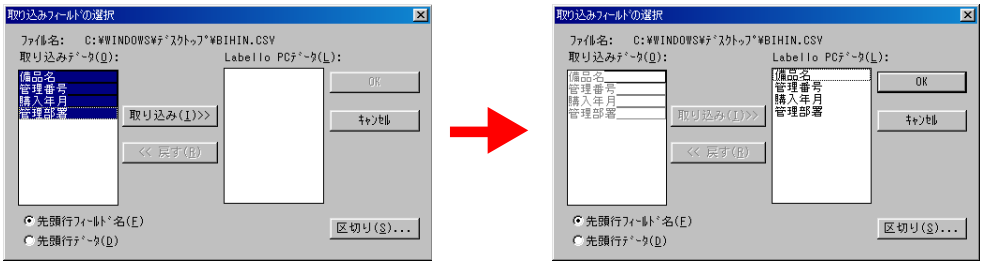
3-1 エディタウィンドウに戻って、1-2で作成した「bihin.csv」を取り込みます。メニューの「ファイル」～「データベースの取り込み」を選択します。



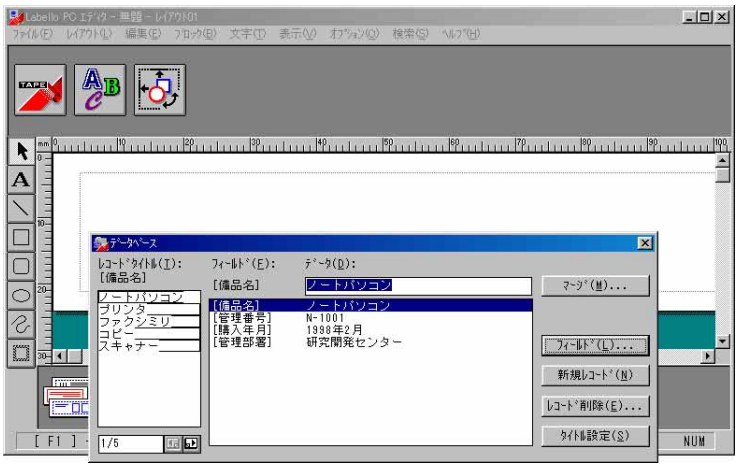
3-2「ファイルの種類」からCSVファイルを選択してから、1-2で作成した「bihin.csv」を選び、「OK」をクリックします。



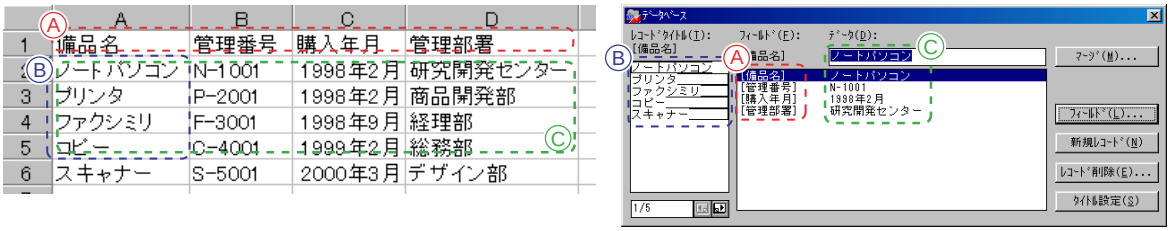
3-3「取り込みフィールドの選択」ダイアログに「bihin.csv」の情報が読み込まれました。
続いて［取り込みデータ］から項目を選択して(「Ctrl キー＋クリック」で複数の項目が選択できます)「取り込み」をクリックし、［Labello PC データ］に選択した項目が表示されているのを確認して、「OK」をクリックします。
ここでは全ての項目を一度に取り込んでいます。



3-4「データベース」ダイアログにエクセルで作成したデータが取り込まれました。



なお、ここで表示されているデータはエクセルで作成したものとデータの並びが異なります。それぞれのデータがどこに該当するかは下の図をご覧ください。



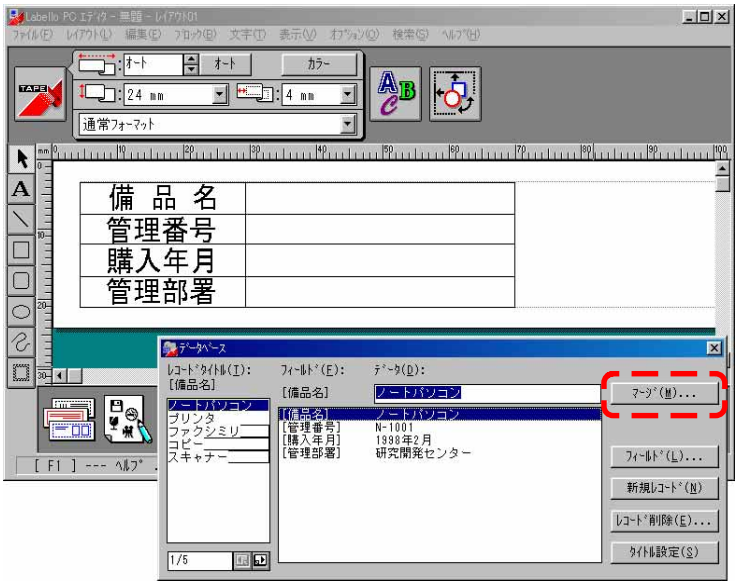
※A.フィールド　B.レコードタイトル　C.データ

4. ラベルの設定とレイアウト作成

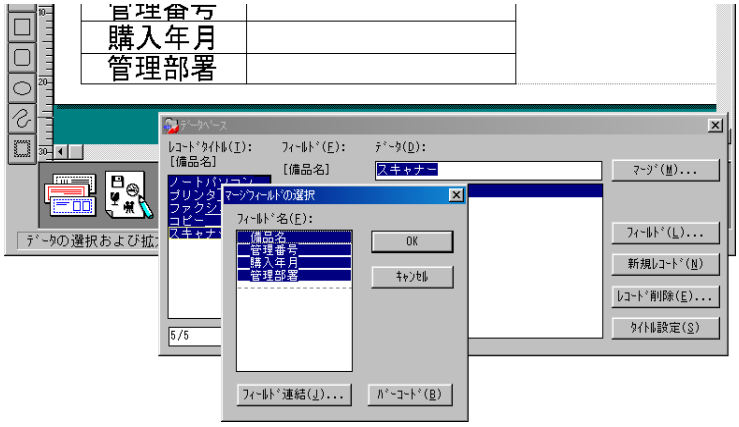
4-1 エディタウィンドウで「ページプロパティアイコン」をクリックして、ラベルのテープ幅や長さを設定します。
ここでは「通常フォーマット」を選択しています。
※「ページプロパティズ」については取扱説明書のP50をご覧ください。

4-2 次に「ツールバー」を使って図のように枠組みと項目名を作成します。
※「ツールバー」については取扱説明書のP52をご覧ください。

4-3 「データベース」ダイアログの「マージ」をクリックします。

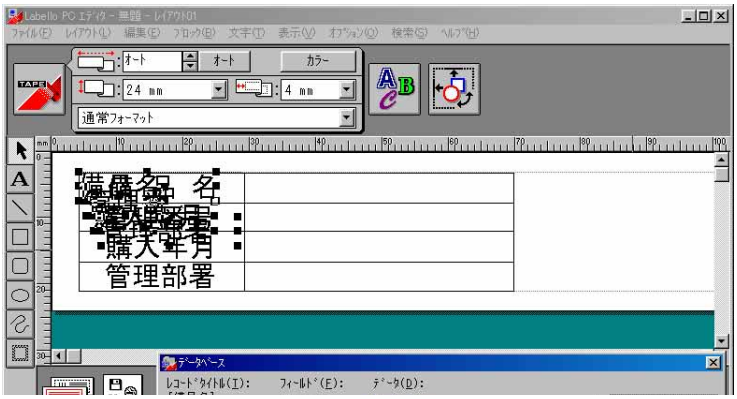


4-4「マージフィールドの選択」ダイアログの［フィールド名］から、レイアウトしたい項目を選択して(「Ctrlキー＋クリック」で複数の項目が選択できます)「OK」をクリックします。ここでは全ての項目を一度に選択しています。



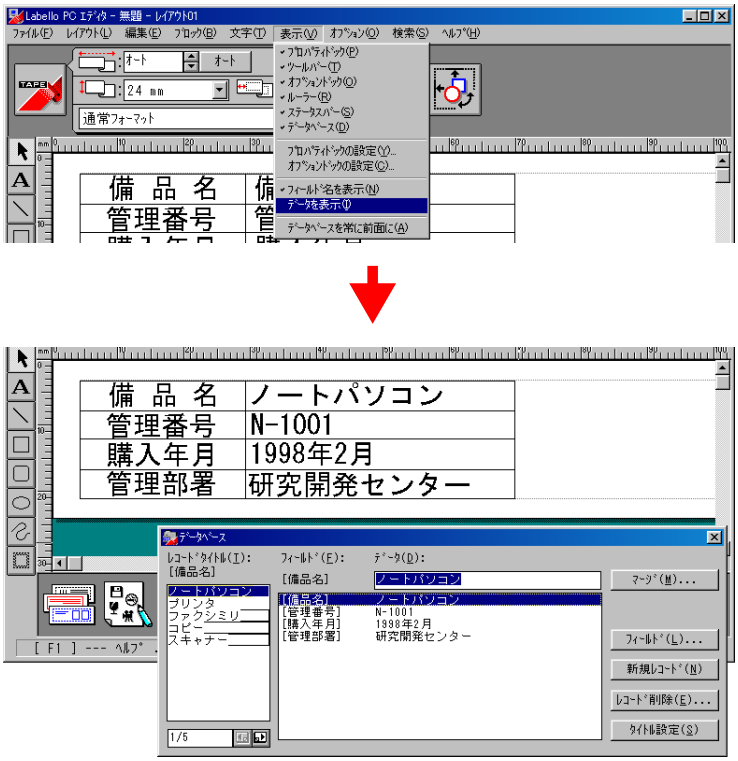
4-5 エディタウィンドウのレイアウト領域に選択した項目が表示されました。

※エディタウィンドウにマージされたデータを変更・修正する場合は、「データベース」ダイアログで変更・修正してください。



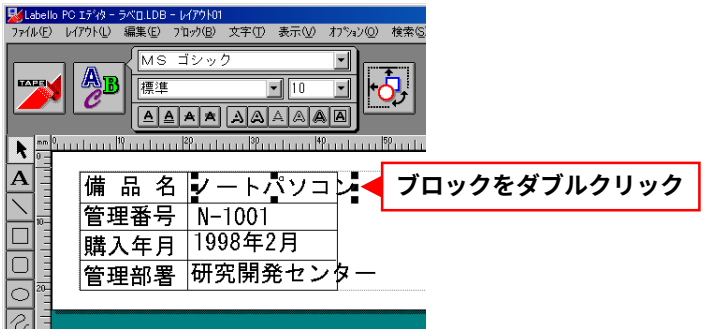
4-6 マージされたデータを図のようにレイアウトしてください。

4-7エディタウィンドウのメニューの「表示」から「データを表示」を選択します。レイアウト領域の項目が、「データベース」ダイアログの［データ］と同じ項目になっているのを確認します。



※枠内へレイアウトする際のポイント

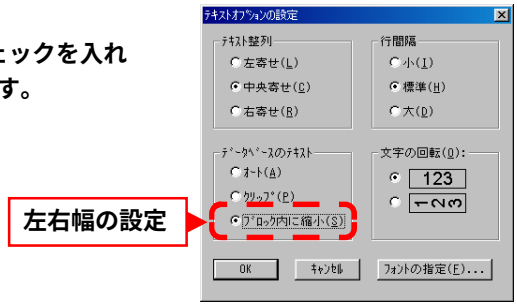
文字数の都合で、枠内に収まりきらないブロック(マージされたデータを“ブロック”と呼びます。ブロックについては取扱説明書のP93をご覧ください)の調節など、縦横のサイズの微調整が行えます。ブロックをダブルクリックして［テキストオプションの設定］ダイアログを開きます。ここでブロックの細かい設定を行います。



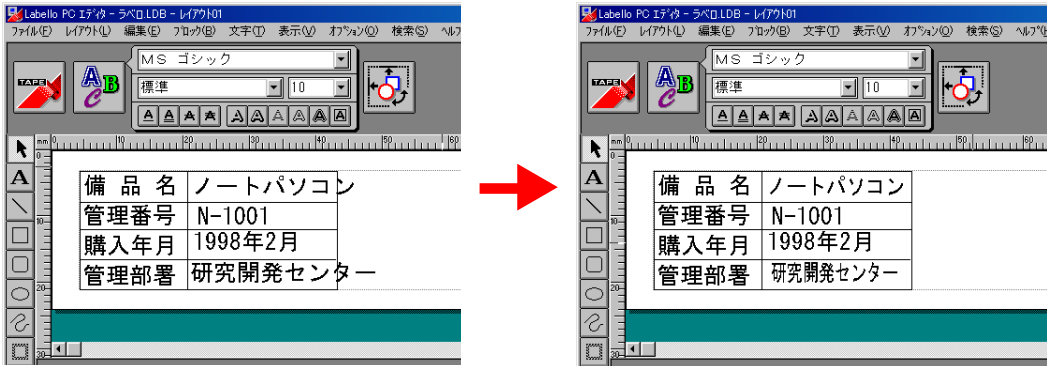
・左右幅の設定

＜データベースのテキスト＞の＜ブロック内に縮小＞にチェックを入れると、ドラッグしたブロックの横幅 にあわせて縮小できます。

(拡大はできません)



・上下幅の設定
＜フォントの指定＞をクリックし＜サイズ＞を設定します。

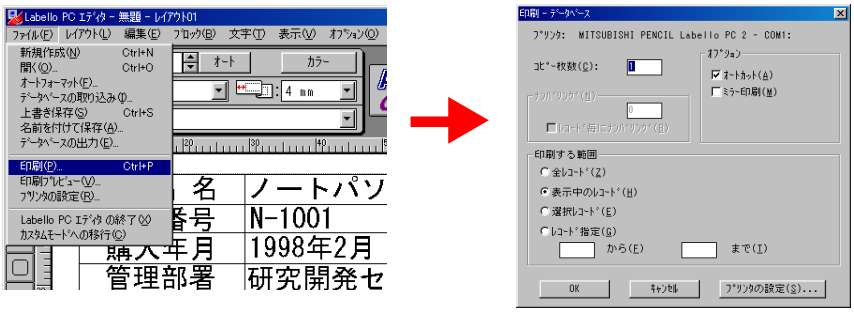


4-8「データベース」ダイアログの左下の ボタンをクリックして、[レコードタイトル] の項目を選択してください。エディタウィンドウにレイアウトした項目が自動的に変更されます。これで完成です。データを保存してください。

5. データベースモードの印刷

5-1 印刷の前に指定の幅のテープがセットされていることを確認します。

5-2 メニューの「ファイル」から「印刷」を選択すると、[印刷 - データベース] ダイアログが表示されます。印刷範囲を選択し、「OK」をクリックすると印刷が開始されます。



※ラベル印刷の詳細については、取扱説明書のP158～167をご覧ください。

All Rights Reserved. Copyright © 2000 MITSUBISHI PENCIL Co., LTD.
●本書の内容の一部または全部を無断で転載することは絶対におやめください。
●本書の内容は予告なしに変更する場合もあります。
●本機に添付のソフトウェアの一部または全部を無断で複写、複製、転売することは絶対におやめください。
●本機をご利用になった結果の如何については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
Microsoft®、Windows®、Microsoft®Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。